

八尾ロボットフェア 2020

第12回八尾ロボットコンテスト

2020.2.29 アリオ八尾

チーム名 & ロボット名	参加者 名簿			
チーム名 Arcobaleno	チーム代表者: <small>ヤマシタ カズナ</small> 山下 和那			
	チーム監督者: <small>ヤマシタ カズナ</small> 山下 和那			
	操縦者: <small>ヒライ ユキヤ</small> 平井 幸弥			
	参加者: 高知工科大学			
ロボット名 剣シロウ	<small>ヤマシタ カズナ</small> 山下 和那	<small>シノクチ シノ</small> 溝口 祥嵩	<small>ヨコヤマ コウダイ</small> 横山 貢大	<small>ハマジマ ガク</small> 濱島 岳
	<small>ヒライ ユキヤ</small> 平井 幸弥	<small>ハンダ ヒロ</small> 半田 浩丈	<small>ヤマモト トム</small> 山本 十夢	



ロボット製作費	¥30,000
ロボットの大きさ	556 × 556 × 530
ロボットの重量	12kg
車検(当日に)	
特 徴	
オムニホイールを4つ使用した4輪オムニロボットです。レイピア取り付け部は2か所あり、スライダクランクを用いて往復運動をします。2つのレイピア取り付け部の高さをずらしてあるので、高さの違う位置にある風船を割れるようにしています。	

ロボットクラブでは基板、プログラム製作と機体の製作の2チームに分かれてロボットを作っています。オムニホイールの軸にはss400を使ってみました。錆びないようにバーナーで加熱して酸化被膜を付けています。4輪それぞれにバネでサスペンションを付けてみましたが、加工の精度と構造から、うまく機能してくれませんでした。アルミ角パイプでがっちり組んでいるので、ロボットの剛性には自信があります。上半身のスライダクランクを動かす際にうまく作動してくれないときがありました。スムーズに動かすための調整が難しかったです。このロボットは1年生を中心として製作しました。1年生は初めて参加するロボット競技会なので良い結果を残したいです。見て楽しい、会場を湧かせるような競技にしたいです。

ご提出期限2月15日

氏名にはふりがなを付けてください。

データーをメールで下さい。

部品、材料費 30万円以下

後日、**明細表をExcelで作成しご提出**の事

競技中 600 x600 x600高さ以内

ロボットの重量 35Kgs.以下